

建築人

2021

9

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.687





建築人

2021.09 No.687

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「御幣島ビル」2020年

第13回 建築人賞 建築人賞 受賞作品
設計：大林組大阪本店一級建築士事務所
施工：大林組
撮影：河合止場

障がいのある人を積極的に雇用するために設立された特例子会社の本社オフィス。ユニバーサルデザインの追求をメインコンセプトとし、だれもが守られ動きやすいワークスペースを目指した。建物の外周には地上から屋上までの避難スロープを設けている。

大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

例年であれば、夏休み期間中に親子連れやカップルなどがたくさん訪れ、ウォーターフロントを楽しめる環境が整備されている天保山エリアを取り上げたい。元は、江戸時代に天保の大川凌と呼ばれ、治水と大型船の入港を可能にする目的で行われた工事の際に出た土砂を用いて築かれた山で20m程の高さであった。大阪湾から安治川を運航する船乗りたちの目印になったことから「目印山」と命名され、人気の景勝地として賑わっていた。なお、葛飾北斎が全国の橋を描いた「諸国名橋奇覧」でこの天保山も描かれており、後に築かれた時の元号から天保山と称されるようになった。1854年(安政元年)にロシア軍艦が大阪沖に現れ親善通商条約の締結交渉を要求されたため、警護を固めるために河口を守る砲台をここに建設した。幸いなことに使用されず廃棄されたが高さは7.2mと低くなった。その後、1888年(明治21年)に公園として整備され、天保山遊園が開設されたが長続きせず、1958年(昭和33年)に天保山公園が整備されたが、高度経済成長後には地下水の汲み上げにより地盤沈下が進み標高は下がり続け、近年では高さ4.53mとなった。90年代には大阪港ウォーターフロント再開発により、海遊館や大観覧車、大阪文化館(旧サントリーミュージアム)、マーケットプレイスなどが次々と開業し、複合型アミューズメント施設として賑わいを取り戻した。現在は、西側に位置するサンセット広場に寄贈されたマーメイド像がある。この像は大切な選択を迫られて逡巡している様を表現している。今は何を逡巡しているのか、夕日を眺めながら思いを馳せたい。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「コアツ機器開発棟」

設計：大林組大阪本店一級建築士事務所
施工：大林組

「能勢町 新庁舎」

設計：内藤建築事務所
施工：コーナン建設

「学校法人 阿部野学園 子育て支援センター」

設計：アークスタジオ一級建築士事務所
施工：岩城工務店

「ANNEX TSUTENKAKU TOWER」

設計：竹中工務店
施工：竹中工務店

8 動静レポート

9 Topics

10 インフォメーション・事業案内

12 記憶の建築

「群馬音楽センター」1961年

還暦を迎えた戦後復興の音楽ホール / 松隈 洋

建築人 No.687 2021年9月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部

部門長：飯田英二

委員長：荻窪伸彦(編集人代表)

編集人：梅田武宏 笠井志保 河合哲夫 茂籠一之
大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義 三谷勝章
武藤優哉 若江直生

事務局：山本茂樹 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

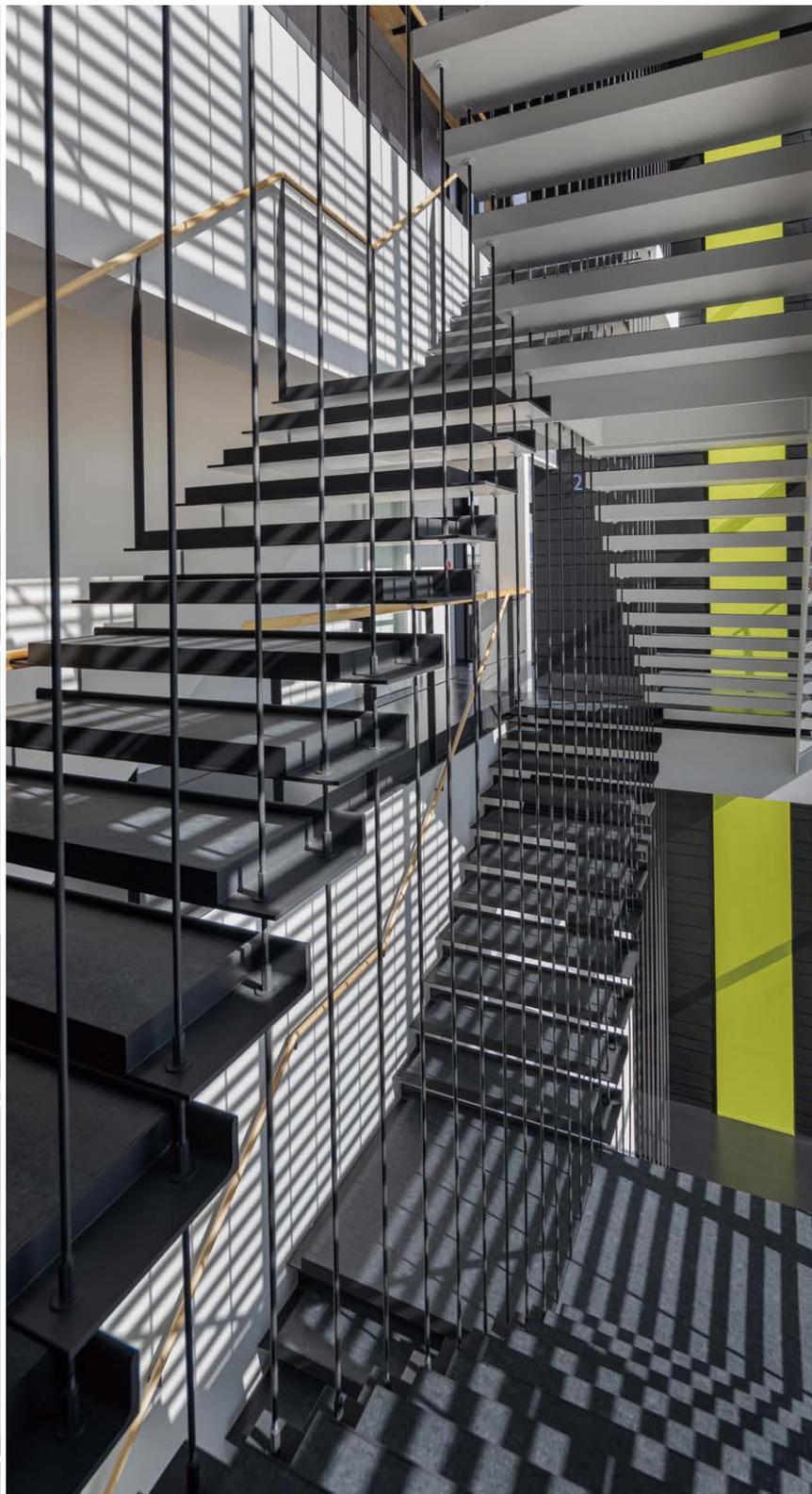
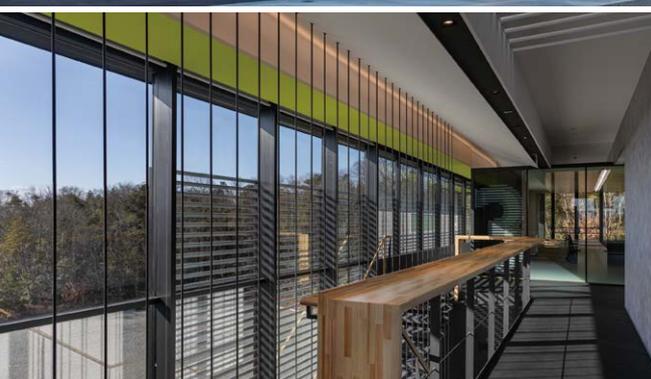
令和3年9月1日発行

発行人：会長/岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961



ガス系消火設備メーカー：株式会社コアツの研究開発棟を建設した。巧みに噴射されるガスの気流「ストリームライン」を建物のモチーフとし、外観上もガラスファサードと3階テラスを繋ぐストリームラインをつくった。ガラスファサードに内包される3層吹抜けのシザース吊り階段は、光と影が時々刻々と変化する刺激的な空間とすることで、従業員のリフレッシュ・アイデア発想の場に寄与できればと考えた。緑豊かな既存の斜面を借景とした3階執務室は、ノンドラフト型放射パネル空調とドラフト型床吹出し個別空調による快適な研究開発空間を計画した。天井裏の放射熱を回収し床吹出し空調に利用することで、省エネルギー化と快適性を実現させた。

所在地：兵庫県三田市
用途：研究開発施設
竣工：2021.01
構造規模：S造 3階建
敷地面積：29,183.31㎡
建築面積：744.84㎡
延床面積：1,998.78㎡
写真：伸和



元小学校の敷地にて、鉄骨造平家建ての新館庁舎棟、3階建RC造の旧校舎を改修し議場機能を付加した別館改修棟からなる庁舎の建替計画である。緑豊かな山間、穏やかな能勢の風土にあう、住民が愛着と誇りを持つ庁舎を実現するため、「やさしさ」「安心」「長寿命」をキーワードにコンパクトな庁舎づくりを心がけた。間口45.3mある執務スペースは、見通しのよいオープンな配置とし、将来の変化にも柔軟に対応できるユニバーサルプランとした。執務スペースに併設したロビーは、住民の交流スペースを兼ね、天井及び壁のルーバー、ベンチ、受付カウンターに能勢産スギ材を活用し、大開口から降り注ぐやさしい光と木の香る温かみのある空間を目指した。

所在地：大阪府能勢町
用途：庁舎
竣工：2021.01
構造規模：鉄骨造
平屋建
敷地面積：10,955.58㎡
建築面積：1,543.81㎡
延床面積：1,494.40㎡
写真：伸和



木造の準耐火建築という法規制の中、可能な限り幼児に木の触覚を体験してもらいたいとの思いで造った保育と母子の支援センター。保育室の独立柱には檜の磨き丸太、床と腰壁は無垢板、カウンターは6.5mある木目の美しい耳付厚板。2階のプレイロットには、枝付檜の独立柱と磨き丸太の残材のベンチも設置。又、空気の循環装置でもある吹抜に設けた三角屋根のトップライトからは、空と雲と太陽光を室内に取り込み、自然をより感じられる遊び場とした。道向かいの既存幼稚園の園庭を取り込み、相互の気配が交感するように計画したこの建物は、訪れる母子だけでなく、通行人にも楽しんでもらえるよう、色と形、素材を工夫している。
 (羽木みどり・茶之木宏次)

所在地：大阪市阿倍野区
 用途：保育所
 竣工：2021.04
 構造規模：木造3階建
 敷地面積：290.31㎡
 建築面積：115.36㎡
 延床面積：316.47㎡
 写真：林 孝



通天閣の新たな観光拠点としての物販店舗である。通り抜けができる平面プランとし、通天閣を中心に新世界に広がる放射状の街路に新たな賑わいの小路を加えることを目指した。へ字型の敷地形状にあわせ木造門型フレームを配することで、店舗幅を最大限確保すると共に、通り抜け空間として奥へ引き込まれる視覚的効果を演出した。耐火・準耐火建築物でない「技術的基準適合建築物」とすることで、「木架構の現し」「堅穴区画不要」等を実現し、狭小敷地ながら豊かな空間を生み出した。建物が密集する地区において、通り抜けができる風通しの良い店舗空間が、ニューノーマル時代の新たなモデルのひとつとして街に展開されることを期待している。

(野口伸・田中はつみ)

所在地：大阪府大阪市
用途：店舗・事務所
竣工：2020.08
構造規模：木造3階建
敷地面積：139.97㎡
建築面積：109.22㎡
延床面積：298.49㎡
写真：母倉知樹

会長動静

- 7/26 近畿建築士会協議会
- 7/29 茨木市長面談
- 7/31 JICA 関西訪問講演会
- 8/ 2 近畿学生住宅大賞プレス発表
本会監事と意見交換
- 8/ 3 島本町長面談
- 8/ 6 守口市長面談
- 8/10 大阪府収用委員会
- 8/17 豊能町長面談
能勢町長面談
- 8/19 寝屋川市長面談
- 8/20 枚方市長面談
- 8/24 大阪府収用委員会
交野市長面談

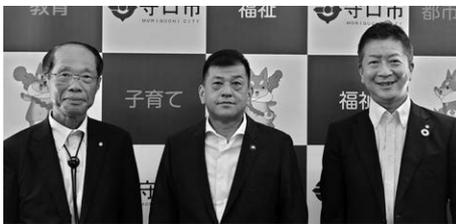
会長による府内市町村長との面談



左から福岡洋一茨木市長、岡本会長、濱田副会長、山添専務理事、神保委員



左から濱田副会長、岡本会長、山田紘平島本町長



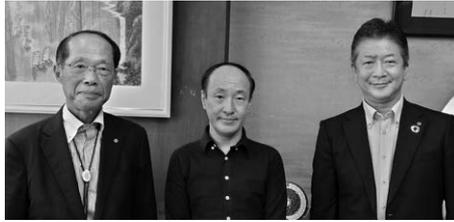
左から岡本会長、西端勝樹守口市長、上田副会長



左から川村哲也豊能町副町長、岡本会長、塩川恒敏豊能町長、上田副会長



左より上森一成能勢町長、岡本会長、上田副会長



左より岡本会長、広瀬慶輔寝屋川市長、上田副会長



左より岡本会長、伏見隆枚方市長、田中副会長、熊田委員



左より岡本会長、黒田実交野市長、上田副会長、田中理事

ウォーターフロント活性化提言

本会が策定中のウォーターフロント活性化提言について8月2日に大阪府住宅まちづくり部まちづくり戦略室について説明し、意見交換を行いました。

大阪府からはまちづくり戦略室進士都市空間創造課長、嶺倉参事が、本会からは高原委員長、徳岡特任相談役、中野委員、山添専務理事が出席しました。

本提言書の素案では2019年在阪建築四団体で取りまとめた共同宣言「ARCHI-4 KANSAI 提言書」をもとに第1章：ウォーターフロントを取り巻く状況、第2章：SDGsで読み解くウォーターフロント活性化提言とその事例、第3章：事業実現に仕組みづくり・規制改革・環境整備により構成されています。

今後、大阪府のみならず、多方面からの意見交換や協力を得て提言書の内容に多様性を持たせるなど充実を図ってまいります。

近畿学生住宅大賞を創設

近畿2府4県で構成する近畿建築士会協議会が主催して本会が主管する「近畿学生住宅大賞」を創設し、8月2日にプレス発表を行いました。

近畿圏内の建築系大学、高専、専門学校各学校で住宅課題として制作した作品の中から応募いただき、社会性、文化性、芸術性の観点で優れたものを表彰し、学生の勉学の励みにしていただくとともに、建築士の認知度を学生に広めることを目的としています。

応募期間は9月1日～26日で、詳細は本会ホームページをご参照ください。



プレス発表する岡本会長と沼田建築表彰部門長

令和3年度地域文化財総合活用推進事業補助金交付決定

ヘリテージ委員会がとりまとめ、申請していた令和3年度地域文化財総合活用推進事業補助金について、文化庁から19,096,000円の交付が決定されました。これに基づき、令和3年度大阪府ヘリテージマネージャー育成講座、ステップアップ講座の開催、大阪文化財ナビのフランス語版作成、歴史的建造物マップ（北河内・中河内地域）の作成、登録文化財案内板の作成、「はじめよう文化財の活用」、「大阪講談の楽しみ方」など、補助事業の実施を進めていきます。

『生産性向上に向けた建設ICTの動向』講習会

日程：令和3年6月29日(火)
会場：大阪府建築健保会館
参加者：27名

当初の2020年10月の開催予定が、新型コロナウイルスの影響で2021年2月に順延になり、さらに再順延になり第4波が少しおさまった6月29日にやっと開催することができました。WEB講習も検討しましたが、講師の方々の「面白い色々な裏話も紹介したい……」という要望もあり久々の対面講習という形での開催でした。

建設業界は少子高齢化の波をまともに受け、労働者不足が既に深刻な問題になっており、これを解決することは建設業界全体の喫緊の課題です。そのような状況下で、建設業界の色々な取り組みが既に始まっています。今回の講習会では、大林組様、清水建設様、KOMATSU様の最新事例と今後の動向を紹介していただきました。

最初に大林組ロボティクス生産本部部長の清酒様より「DXによる建設施工の将来(施工現場の働き方改革に向けて)」というテ-

マで、講演をしていただきました。サイバー空間に施工現場を再現して施工計画をおこなうCPS (Cyber Physical System) の考え方や、ロボット要素技術の組み合わせなど建設業界の近未来の姿が垣間見える興味深いお話でした。

次に清水建設生産技術本部副本部長の坂本様より「シミズスマートサイト(次世代建築生産システム)」の事例紹介として、搬送ロボット、溶接ロボット、天井・床仕上げロボットなどの様々なロボット要素技術の紹介と、それら全体をマネジメントする統合管理システム(Robo-Master Cloud)についてお話をしていただきました。搬送、溶接、仕上げなどの各々の省人化率は70%以上の効果が出ているものの、工事全体では約2%と厳しい現実もあり、工事全体での省人化率を上げていくためには、建設業界全体の連携や技術のオープン化などの課題があることも認識でき

藤田 猛(研修委員会 構造・施工担当委員)



ました。最後はKOMATSUスマートコンストラクション推進部GMの林田様より「コマツスマートコンストラクション」の事例紹介をしていただきました。ICT建機の開発にとどまらず、ドローン測量～無人運転の掘削重機～ドローン出来形管理までシステム化され、日本にとどまらずドイツの高速道路(アウトバーン)にも採用されたようです。全体として、BIM・CIMと情報連携した設計～施工にわたる建設ICTが既に大きく動き出している実感を持ちました。



シミズスマートサイト新大阪

国際茶楼Vol.7 「JICA関西訪問 いま我々にできること～海外に目を向けて」

日程：令和3年7月31日(土)
会場：JICA関西
参加者：17名

国際委員会では国際茶楼と題した企画を行っております。今回が7回目でJICA関西を訪ねて開発教育支援事業担当津田かおり様、社会科/日本語講師の村瀬正則様より国際協力事業の講義を聞きました。

コロナ禍によるまん延防止重点措置のさなかということもあり可能な限り検温、手指消毒を徹底しての開催となりました。

1部では津田様より国際協力事業の概要を説明していただきました。JICA(独立行政法人国際協力機構)活動は、日本の政府開発援助(ODA)を行う実施機関として、発展途上国への国際協力を行っています。世界に約200の国が有り、その中でほとんどが発展途上国といわれる国が約150あります。それ等の国のODAによる国際協力を行う機関ということになります。

ODAというと日本から途上国へというイメージが有りますが、1964年に開業した東海道

新幹線も世界銀行からのODAにより建設されたということをお聞きし、単なる援助ではなくインフラ整備であると認識を新たにしました。

2部では村瀬講師より任地のウズベキスタンとパプアニューギニアでの活動についてお聞きする事が出来ました。ウズベキスタンは、治安が良くて町が美しく観光旅行にはとても良いとのことでした。講師の熱意と体験談を聞き我々建築士にも何かできるのではと考えさせられました。

講演の前にJICA関西食堂でエスニック料理をいただきました。とてもおいしいランチですがこれも1食につき20円の寄付金が発展途上国の子供たちの学校給食になっているそうです。現地では20円で給食1食分です。広報展示室・資料室で見た国際協力にちなんだ様々な資料もとても興味深く民族の多様性を考えさせられました。講演の後は人と

原田雅史(国際委員会委員長)



防災・未来センター、なぎさ公園を見ながら兵庫県立美術館へ行きヤノベケンジ氏・元永定正氏・新宮晋氏の作品を見て安藤忠雄ギャラリーを見学しました。安藤忠雄氏の代表作の1/10コンクリート模型は迫力が有りました。

極暑の中の見学でしたが、本会以外の方も参加していただき充実した楽しい一日となりました。コロナ禍の中、講演いただいた講師の方々には改めてお礼申し上げます。



JICA関西外観

Information

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離間距離確保等の新型コロナウイルス感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。

感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック塀等耐震化促進事業(補助金)における耐震評価機関となりました。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価 等
(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

大阪府知事指定講習

2021年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》 12/8・2/17 CPD5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。(本講習は、国土交通大臣登録講習ではありません。)

日程 ①12月8日(水)
②令和4年2月17日(木)

時間 10:00~15:50

会場 大阪府建築健康会館6階ホール
最寄駅 大阪メトロ「谷町四丁目」下車
定員 各40名(定員になり次第締切)

受講料 会員5,000円 会員外9,000円
テキスト代 7,300円(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)

※受講料及びテキスト代金は、事前にお振込み願います。その際振込手数料もご負担願います。

令和3年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)
11/10、1/27、2/18、3/9
CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講下さい。

日程 11/10(水)
令和4年1/27(木)、2/18(金)、3/9(水)

時間 8:55~17:00

会場 本会会議室

定員 各回20名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

既存住宅状況調査技術者講習

新規講習11/25 CPD5単位
更新講習9/21、12/22、2/15 CPD各2単位
オンライン講習 CPD2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2018年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。オンライン講習も開催します。

▼新規講習(DVD講習)

日時 11/25(木) 9:30~17:00

会場 本会会議室

定員 20名(定員に達し次第締切)

受講料 郵送申込22,000円
WEB申込21,450円

▼更新講習(DVD講習)

日時 9/21(火)、12/22(水)、2/15(火)
13:30~16:50

会場 本会会議室

定員 各20名(定員に達し次第締切)

受講料 郵送申込17,600円
WEB申込17,000円

▼更新講習(オンライン講習)

日程 11月前期:11/1(月)~11/15(月)
申込締切10/18(月)
12月前期:12/1(水)~12/15(水)
申込締切11/17(水)

定員 各200名

受講料 WEB申込みのみ17,000円

※受講に必要なパソコンの動作環境の詳細は、日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

▼申込

日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
URL <http://www.kenchikushikai.or.jp/>

令和3年度建築士定期講習

2/8、3/7、3/24 CPD各6単位
9/17、9/29、10/27、11/19、12/16
CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成30年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義

日程・会場・定員

※2/8(火) 大阪YMCA会館2階 100名
3/7(月) 大阪国際会議場10階 200名
※3/24(木) 大阪国際会議場10階 200名

時間 9:15~17:00(各講習日共)

受講料 12,980円(消費税含。事前振込)

申込方法

申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。(平成30年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。)

ご記入後、大阪府建築士会又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。

受付場所(送付場所)

※印の日程 大阪府建築士会事務局
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。
<https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/>
注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

▼「WEB動画配信」による講習会

各自都合のよい時間にWEB動画により受講いただき、修了考査のみ会場に来ていただく形式となります。

修了考査日程・会場・定員

9/17(金)大阪府建築士会 1日3回20名ずつ
9/29(水)大阪府建築士事務所協会 1日3回16名ずつ
10/27(水)大阪府建築士事務所協会 1日3回16名ずつ
11/19(金)大阪府建築士会 1日3回20名ずつ
12/16(木)大阪府建築士事務所協会 1日3回16名ずつ

受講料 12,980円(消費税含。事前振込)

申込方法

建築技術教育普及センターHPからWEB申込
<https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/>
注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

1970年大阪万博の情熱が蘇る

『建築士が見た太陽の塔』 9/18 CPD3単位

当時仮設建築物として建てられ、工作物として保存されていたため、人の立ち入りができなかった太陽の塔を建築物に変える前例のないプロジェクト。

万博当時の芸術性・意匠性を引き立てる改修についてお話し頂けます。

日時 9月18日(土) 13:00~16:10
会場 エル・おおさか(予定)
定員 70名(予定)
受講料 士会会員2,000円 一般3,000円
学生・本会新入会員(2020年度以降に入会)1,000円

講師 佐藤健哉(大阪府)・久家一哲(昭和設計元所員)・垣内博(大林組)

新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催内容の変更や中止となる場合がございますのでご了承ください。

※後日、WEB有料配信を予定

第1回近畿学生住宅大賞

9/1~9/26

近畿建築士会協議会では、近畿圏内の建築系大学、高専、専門学校に在籍する学生個人(院生はのぞく)の各学校の住宅課題で行われた住宅課題全作品を対象とした「近畿学生住宅大賞」を開催します。集合住宅や併用住宅、リノベーション課題も含まれます。

応募期間 9月1日(水)~9月26日(日) 23時

詳細は本会HPをご覧ください。

BIM講習

すべてがわかる国交省最新動向と本格的実践活用事例

9/30 CPD3単位(予定)

現在、国交省を中心として建築BIM推進会議が行われ、BIMの更なる普及・活用に向けた動きが急ピッチで建築業界に起こっています。

この状況の中でいかに状況をとらえ、乗り遅れずにBIMを推進していくために広く皆様にBIMの大きな流れを知っていただくべく、講習会を開催いたします。

第1部では国交省のBIM推進の方針を、第2部ではBIM事例で特に実績を上げておられるゼネコンの最新取り組み状況をご説明いただきます。

日時 9月30日(木) 14:00~16:45

会場 大阪建築健康会館 6階ホール

定員 70名(定員に達し次第締切)

受講料 建築士会会員3,500円
後援団体会員4,500円
一般5,500円

第64回大阪建築コンクール 受賞者講演会&トークセッション 10/29 CPD2単位(予定)

大阪建築コンクールは、建築士と社会との関わりを通じて建築作品を評価し、そのすぐれた実績をたたえ、建築作品の設計者を表彰するものです。第64回を迎えた今回、大阪府知事賞および渡辺節賞の受賞者による講演会を企画いたしました。

受賞作品のお話を語っていただきます。また、審査委員とのトークセッションやパネル等の展示も行います。

INFORMATIONの詳細は本会ホームページに掲載しています。本会の事業はホームページから申込できます。
【大阪府建築士会】大阪府中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階 <http://www.aba-osakafu.or.jp/>
メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

日時 10月29日(金) 18:30～20:30
会場 大阪府建築健康会館6Fホール
大阪市中央区和泉町2-1-11
最寄駅 大阪メトロ「谷町四丁目」下車
参加費 無料(申込不要)

第63回建築士会全国大会広島大会 広島での開催中止のお知らせ

広島県建築士会では全国大会に向け準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルスの感染急拡大により、先行きが見えない状況で、広島県建築士会の判断として広島での開催は断念せざるを得ないとの結論となり、日本建築士会連合会で臨時の総務企画委員会を開催、検討の結果、以下の3点を決定しました。

- ①広島での開催は行わない。
- ②東京で代わりの会場を確保する。
- ③東京で開催する際には広島県建築士会の協力を得る。

従いまして、全国大会については広島での開催は行わず、やり方を変えて東京で開催することになりました。東京開催の全国大会の実施内容等については、令和3年9月17日に開催される連合会総務企画委員会において決定する予定です。

行政からのお知らせ

令和3年4月より石綿(アスベスト)の規制が段階的に強化

令和2年6月に、建築物等の解体等工事における石綿(アスベスト)の排出抑制を図るため、「大気汚染防止法の一部を改正する法律」が公布されました。主な改正事項としては、規制対象がすべての石綿含有建材に拡大され、また、作業基準遵守の徹底を目的とする直接罰が新たに創設されるなど、アスベスト対策を一層強化する内容となっています。

詳しくは、大阪市のHPをご覧ください。
HP [大阪市 大気汚染防止法の改正について](#) [検索](#)
問合せ 大阪市環境局環境管理部環境管理課
環境保全対策グループ
Tel.06-6615-7923

その他のお知らせ

岸和郎：時間の真実 Waru KISHI_TIME WILL TELL 6/21～9/11

建築家である岸和郎氏の1981年から現在まで、さらに進行中の仕事までを含め、図面、ドローイング、模型、映像など建築家として

の約40年の作品資料、写真、書籍などを京都工芸繊維大学美術工芸資料館、附属図書館がアーカイブとして受入れることとなり、寄贈前に同会場にて皆様にご披露する形で行うものです。展覧会では岸氏の仕事と営為をまとめて概観すると共に、同時に同大学附属図書館ではこれまでの発表作品の掲載雑誌、書籍、作品集なども展示しています。
期間 6月21日(月)～9月11日(土)
時間 10:00～17:00(入館16:30まで)
会場 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
休館日 日曜日・祝日・夏季休業期間(8月12日(木)から8月17日(火))
入館料 一般200円 大学生150円
高校生以下無料
問合せ 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
Tel.075-724-7924

被災建築物の応急危険度判定(養成)講習会

10/21、12/16、2/15 CPD各3単位

地震等により被災した建築物の余震等による倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定を行う大阪府被災建築物応急危険度判定士を養成する講習会です。判定士の資格をお持ちでない方はぜひ本講習会を修了され、判定士へのご登録をお願いいたします。
日程 10/21(木)、12/16(木)、2/15(火)
時間 受付12:30～ 講習13:15～17:00
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
定員 各40～80名(新型コロナウイルス感染防止対策のため調整します)
受講資格 大阪府内在住または在勤の一級建築士、二級建築士、木造建築士並びに建築基準適合判定資格者及び特定建築物調査員
※本講習会は応急危険度判定士に登録される方を対象としています。
受講料 無料
テキスト代 税込み1,600円(特別価格)
申込・問合せ 一般財団法人大阪建築防災センター企画耐震部
Tel.06-6942-0190

大阪府登録文化財所有者の会主催
『歴史的建造物の保存と活用に向けて』
3回連続講座

歴史的建造物の防災・安全性の確保を学ぶとともに、地域の歴史文化を継承し次世代に繋ぐことをめざして、3回の講演会を企画します。
第3回は、豊中市の奥野家住宅(国登録有形文化財)を会場とし、歴史的建造物と防災について学び、また消防署の方から消火器の使用や注意点についてお話を聞き、消火器訓練を予定しています。
第3回 講座
「歴史的建造物と防災-2-」
日程 9月11日(土) 13:00～17:00
会場 奥野家住宅(桜の庄兵衛ギャラリー)
(国登録有形文化財)

豊中市中桜塚2-30-35
講師 「歴史的建造物や緑地による減災の知恵と地域一体の消火器配備」
大窪健之(立命館大学理工学部教授)
「奥野家住宅の再生と活用」
藤岡龍介(藤岡建築研究室主宰)
「消火器の使用法などについて」
※訓練用消火器使用体験
栗阪茂(豊中市新千里消防署防広報係主任)
参加費 1,000円
定員 35名(申込先着順)
申込 カルテッドオンライン
<https://www.quartet-online.net/ticket/otoubun20210911>
問合せ 大阪府登録文化財所有者の会
事務局Tel.090-5136-6989
詳細は『大阪文化財ナビ』に掲載
<https://osaka-bunkazainavi.org/>

建築レクチュアシリーズ217 9/24

大阪を拠点に活動を行う2人の建築家・芦澤竜一氏と平沼孝啓氏が1組のゲスト建築家をお呼びして、年に7回開催する建築レクチュアシリーズ。作家思考性を探ると共に、より本音で刺激的なトークセッションを行います。今回のゲストスピーカーは坂茂氏です。
日時 9月24日(金) 19:00～20:30
(開場18:00)
ゲストスピーカー 坂茂
会場 グランフロント大阪北館4階
ナレッジキャピタル ナレッジシアター
大阪市北区大深町3-1
入場料 1,000円
定員 190名
申込 ウェブサイトより要申込
<https://217.aaf.ac>
問合せ (NPO法人)アートアンドアーキテクト
フェスタ
E-mail info@aaf.ac

地盤工学会関西支部第12回若手セミナー 11/11

地盤工学会関西支部では、オンラインと対面による「若手セミナー」を企画し、若手技術者の「基礎知識の習得」・「技術継承」・「人脈形成」の場となるよう、双方向・多方向型の講義形式で今後活かせる技術の習得および基礎知識の深度化につながるセミナーとして開催します。
第12回は、「私と地盤とのかかわり」を共通のテーマとして、発注者・設計者・施工者のそれぞれの立場における業務での試行錯誤や経験談について講演します。
主催 (公社)地盤工学会関西支部
日時 11月11日(木) 14:00～17:00
会場 ドーンセンター大会議室+Zoomミーティング(オンラインと対面の開催)
定員 先着100名
参加料 本会会員1,000円
会員外1,500円

講演 「兵庫県南部地震における震災被害調査で学んだこと」
講師 南荘 淳(川田工業(株)(元阪神高速道路))
講演 「河川の氾濫危険度と堤防破壊のメカニズムについて」
講師 栗田秀明(株建設技術研究所)
講演 「都市土木工事の苦勞あれこれ(営業線近接工事)」
講師 友廣康二(元榎大林組)
※講演資料は会場にて配布もしくはE-mailで参加者に事前に送ります。
申込締切 10月27日(水)
申込方法 地盤工学会関西支部HPより申込。
FAX、E-mailでも可。
申込・問合せ
(公社)地盤工学会関西支部
Tel.06-6946-0393 Fax.06-6946-0383
E-mail office@jgskb.jp
URL <http://www.jgskb.jp>

メトロポリタン美術館展「西洋絵画の500年」[大阪会場] 11/13～1/16

世界三大美術館のひとつで、創立150年の歴史を持つニューヨーク・メトロポリタン美術館。その西洋絵画コレクションから名品65点(うち46点は日本初公開)をまとめて紹介するかつてない展覧会が大阪・東京で開催されます。
ラファエロ、ティツィアーノ、カラヴァッジョ、ジョルジュ・ド・ラ・トゥール、レンブラント、フェルメールから、マネ、モネ、ルノワール、ゴッホまで、誰もが知る画家たちの珠玉の名作で、ルネサンスから19世紀まで、西洋絵画史500年の流れをたどります。
会場 大阪市立美術館
大阪市天王寺区茶臼山町1-82
会期 11月13日(土)～1月16日(日)
問合せ 「メトロポリタン美術館展」広報事務局
(ウインダム内)
Tel.03-6661-9446

我が町「堺」再認識 堺歴史文化景観まち歩き 11/14・3/27 各CPD3単位

世界文化遺産百舌鳥古墳群や堺環濠都市を専門家と歴史文化を学び、風景を発見し、景観写真を撮影する堺歴史文化景観まち歩きを行います。
時間 13:00～16:00
参加費 各500円(青少年は無料15名まで)
定員 各30名(申込先着順)
日程 11月14日(日)・令和4年3月27日(日)
・11月14日(日)
申込期間 9月1日(水)～10月29日(金)
集合 13:00 大阪信用金庫七道支店
北広場前(時間厳守)
・令和4年3月27日(日)
申込期間 1月4日(火)～3月11日(金)
集合 13:00 中百舌鳥駅西側駅前広場(時間厳守)
申込・問合せ 堺ユネスコ協会
Tel.072-299-2323

還暦を迎えた戦後復興の音楽ホール

群馬音楽センター 一九六一年

文・写真 松隈洋 [京都工芸繊維大学教授]

新型コロナウイルスの感染拡大が世界中を覆い、終息への道筋さえ見えない中、偶然見つけた「HAUSER: Alone, Together」というクラシック音楽のYouTube配信映像に心惹かれた。それは、東欧のバルカン半島に位置するクロアチア共和国の北部、イオニア半島先端の町プーラにあるローマ帝国時代の巨大な円形闘技場で撮影され、二〇二〇年四月から配信中だ。約二千年前に建造され、二万三千人を収容したというアリー

ナの中央で、チェリストのハウザーが一人、無観客の客席に深々と一礼して演奏を始める。どうやって撮影されたのだろうか。ドローンの空撮を巧みに使って、あらゆる角度から彼の演奏をライブで捉えながら、壮大な古代遺跡と海沿いの町の美しい風景が映しこまれていく。そして、タイトルにもあるように、この映像は、コロナ下で人々が孤独に引き離されていても、音楽はいつも一緒にいるよ、と伝えつつ、キー・ワーカ



東側の外観



二階ホワイエの内観

と呼ばれる労働者へ捧げられている。一目でその仕事とわかる制服姿で彼らの出てくるラスト・シーンとエンド・メッセージが印象的であり、全編から、音楽を奏でること、共に聴くことの喜びが伝わってくる。

さて、私たちの国でも、敗戦後の復興期に、同じように、音楽によって人々に生きる勇気と励ましを発信しようとした動きが各地にあった。二〇二一年七月十八日、その一つの拠点として、中欧チェコ出身の建築家「アントニン・レーモンド(一八八八〜一九七六年)」が設計を手がけ、市民からの三千万円を超える募金を元に建設され、一九六一年に完成した群馬県音楽センターが、六〇周年の還暦の日を迎えた。それを祝して、十月二十三日には、ここを拠点に演奏活動を続けて来た群馬交響楽団(群響)が、記念コンサートを開催する予定だという。

公開されている総務省の資料によれば、一八七一年、廃藩置県で廃城となった高崎城は陸軍省の所管となり、以降、敗戦まで七〇年にわたって陸軍の第一五連隊が駐屯し、高崎は「一五連隊の街」と呼ばれる軍都として栄えた。そのため、太平洋戦争末期には米軍機による空襲を受け、罹災者は三千人以上に及んだ。しかし、敗戦直後の一九四五年十一月、「戦後の混乱、殺伐さを除くのは音楽しかない」と市内のある喫茶店に集まった人々は、戦争疎開で高崎に一時住んでいた山本直忠(山本直純の父)を指揮者に、現在の群響の前身となる市民オーケストラを結成し、翌一九四六年三月に女学校の講堂で、第一回定期演奏会を開催する。その

地道な音楽活動は、一九五五年二月に公開された映画「ここに泉あり」(今井正監督、岸恵子、岡田英次、小林桂樹主演)のモデルになって反響を呼び、翌年には、文部省から群馬県が「音楽モデル県」第一号に指定される。そして、こうした思いが実を結び、市民からの浄財などを元に、高崎城の跡地に計画されたのが群馬音楽センターだった。

最初の円形プランの第一案が一九五五年に作成され、二度のやり直しを経て、最終案が決定される。限られた厳しい予算の下、レーモンドが構造家の岡本剛と試みたのは、薄い鉄筋コンクリート造のスラブを折り紙のように折り曲げて、外壁と屋根を一続きの構造体とすることによって、最大スパンが六〇日のアーチ状の殻のような天蓋で、客席と舞台、ホワイエの全体をすっぽりと覆う、という斬新な方法だった。それは、担当者の五代信作が、「この建物がまず構造的にまったく無駄のない合理的なものであって、その断面は必要にして最少のものでしたが、同時にこれは最高の職人的技術を要求するものでありました」(『新建築』一九六一年十月号)と記したように、職人技の手仕事に支えられていた。また、この構造体によって、建物正面は全面ガラスとなり、ホワイエ奥の大壁面には、レーモンドのデザインしたプレスコ画が描かれた。そして、このシンプルな構造体によって、扇形の舞台と客席が一体となり、あたかも音の響く楽器の中にいるような、包み込まれた内部空間が実現する。六〇年前の七月十八日、夫人のノエミと共に、こけら落しのコンサートを聴いたレーモンドは、自伝の中で、次のように書き留めている。

「群馬音楽センターに初めて人々が坐り、指揮者がオーケストラの前でタクトを振り上げた時、私たち二人はホールの中央、やや後方に立ち上り、息をこらして互いの手を握りしめていた。その最初の一小節の音で、私たちは音響効果が良いことを知ったのである。何と嬉しく、そして安心したのか。群馬音楽センターにはもう一つ、民主主義本来の姿がある。それは二五〇〇人に共通の空間でありそこに一体感がある。」(アントニン・レーモンド著、三沢浩訳『自伝 アントニン・レーモンド』鹿島出版会)

こうして、誕生した群馬音楽センターは、文字通り群響の本拠地として、半世紀以上にわたって人々と共に生き続けてきた。しかし、当時十四万人だった高崎市の人口は、その後の市町村合併によって県最多の三十七万人の大都市になる。そのこともあり、二〇一九年、市は、より大規模な舞台芸術の発信拠点として、駅の反対側に二万七千㎡の高崎芸術劇場(設計/佐藤総合計画)を竣工させる。

このため、群響は拠点を移すことになり、二〇一九年九月一日、群馬音楽センターで最後となる第五一回定期演奏会が開催されたのである。今後、この建物はどう使われていくのだろうか。最初に紹介した映像にもあるように、コロナ禍によって、すべての芸術表現は、その原点を見つめ直すことが求められている。そんな中、簡素で力強いレーモンドの建築は、改めて、音楽が人々の心のよりどころとなっていた時代の精神を思い起こさせ、建築に何ができるのか、を問いかけているように思う。

「群馬音楽センターに初めて人々が坐り、指揮者がオーケストラの前でタクトを振り上げた時、私たち二人はホールの中央、やや後方に立ち上り、息をこらして互いの手を握りしめていた。その最初の一小節の音で、私たちは音響効果が良いことを知ったのである。何と嬉しく、そして安心したのか。群馬音楽センターにはもう一つ、民主主義本来の姿がある。それは二五〇〇人に共通の空間でありそこに一体感がある。」(アントニン・レーモンド著、三沢浩訳『自伝 アントニン・レーモンド』鹿島出版会)

会員
限定

建築士賠償責任 補償制度 (けんばい)

改正建築士法、2015年6月25日施行 「設計業務等に関する損害賠償保険の契約締結の 努力義務化(第24条の9)」

2014年度より、「法令基準未達補償」および「構造基準未達補償」の2つの補償を追加し、「滅失・破損」が発生しない場合でも一定の基準を満たさなかったために生じる損害賠償責任に対応できるように改定いたしました。

さらに、2016年度からは、耐震診断等の建物調査の遂行に起因して発生した対人・対物事故を補償する「建物調査遂行中の賠償責任補償」を、オプションとして追加しています。

設計・監理業務等 損害賠償責任 に起因する	滅失・破損 あり	建築設備が著しく本来の機能を発揮できない場合の補償 (給排水衛生設備、電気設備、空調設備、住宅の遮音性能)	↑ 2013年度までの けんばい ↓	↑ 本年度の 標準セットプラン ↓
	滅失・破損 なし			
	法令基準未達補償 2014年改定 ※補償対象外とすることも可能です。			
構造基準未達補償 2014年改定				オプション
建物調査遂行中の賠償責任補償 2016年改定				オプション

●法令基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「所定の建築基準関連法令における基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

●構造基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「建築基準法第20条1、2、3号建築物」について、「建築基準法第20条に規定する構造基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

●建物調査遂行中の賠償責任補償

耐震診断等の建物調査業務の遂行に起因して発生した対人・対物事故について、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。
ただし、建物調査業務の結果により発生した事故は補償の対象外となります。

ご加入はWebで

公益社団法人日本建築士会連合会
のホームページ

刊行物案内と保険制度
>「保険制度」のご案内

2020年度
けんばい 新規加入の方

この案内は建築士賠償責任補償制度(けんばい)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は建築士賠償責任補償制度のパンフレットをご覧ください。詳細は保険約款によりますがご不明の点がありましたら、下記までご連絡ください。なお、保険の内容につきましては、取扱保険代理店よりご案内させていただきます。

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 5階
TEL:03-3456-3273 FAX:03-3456-2067
<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

取扱代理店 株式会社 エイアイシー

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-8 丸増麹町ビル 2階
TEL:03-6272-6206 FAX:03-6272-6209
引受保険会社:(幹事)東京海上日動火災保険株式会社・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社

設計・監理業務等のリスクに備えた
建築士会会員のための補償制度

建物状況調査業務に起因する 損害賠償請求に備えて

会員
限定

宅地建物取引業法の改正に伴う 既存住宅状況調査技術者 団体賠償責任保険制度

不測の事態への 賠償資力を確保するために

2018年4月1日より施行されました宅地建物取引業法の改正に伴い、既存住宅状況調査技術者が実施する建物状況調査業務に対応した「既存住宅状況調査技術者団体賠償責任保険制度」を創設いたしました。



加入資格 建築士会会員が経営・勤務または所属(注)する事務所であること

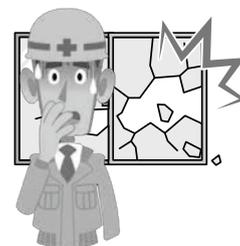
被保険者

- (1) 建築士会会員かつ、「既存住宅状況調査技術者」が経営または勤務・所属する事務所(記名被保険者)
- (2) 記名被保険者の役員および使用人
- (3) 記名被保険者に所属する「既存住宅状況調査技術者」
- (4) 記名被保険者の既存住宅状況調査業務を再委託で引き受けた建築士事務所
- (5) (4)の役員および使用人
- (6) (4)に所属する「既存住宅状況調査技術者」

(注) 所属とは、建築士が建築士法に基づく建築士事務所に属することをいいます。

保険金をお支払いする主な事故事例

- 買主からの依頼により建物状況調査業務を行った際、内壁の劣化は無いと判断したが、売買契約による売主の瑕疵担保責任期間経過後、または、既存住宅売買瑕疵保険等の適用期間経過後に、内壁の劣化が生じていたことが判明した。買主から、調査時に誤りなく内壁の劣化を見落とししていなければ、買主が負担する必要がなかったはずである修補費用相当額に対する損害賠償請求を受けた。
- 建物状況調査業務の検査中に誤って依頼主や通行人にケガを負わせてしまい、治療費等の損害賠償請求を受けた。
- 建物状況調査業務の検査中に誤って、住宅の窓ガラスを破損してしまい、修理費等の損害賠償請求を受けた。



この案内は「宅地建物取引業法の改正に伴う既存住宅状況調査技術者団体賠償責任保険制度(既存住宅状況調査業務特約条項等付帯専門的業務賠償責任保険)」の概要についてご紹介したものです。保険の内容は「宅地建物取引業法の改正に伴う既存住宅状況調査技術者団体賠償責任保険制度」のパンフレットをご覧ください。詳細はパンフレットに記載の保険約款によりますがご不明の点がありましたら、下記までご連絡ください。なお、保険の内容につきましては、取扱保険代理店よりご案内させていただきます。

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 5階
TEL: 03-3456-3273 FAX: 03-3456-2067
www.kenchikushikai.or.jp

〈お問い合わせ先〉

取扱代理店 **株式会社 エイアイシー**

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-8 丸増麹町ビル 2階
TEL: 03-6272-6206 FAX: 03-6272-6209

引受保険会社: (幹事) 東京海上日動火災保険株式会社・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社

光と水のEconology

Pure Coat®

“見えない”が見えてくる。

ピアレックス・テクノロジーズの技術で光触媒とフッ素樹脂を組み合わせたコーティング材「ピュアコート®」は、光と水の力で外壁の汚染を防止・分解し、耐候性を高めます。その効果はすぐには見えないけれど、時を経るごとに確実に見えてくるのです。また、コンクリート外壁において、新築時のきれいな状態を維持するのももちろん、すでに劣化していても新築同様によみがえらせる施工が可能。私たちピアレックス・テクノロジーズは、高い技術力で建物をいつまでも美しく守る最適なソリューションをお届けします。

ピアレックスが選ばれる理由

外壁コーティング材メーカーによる
製品開発から施工までの一貫体制

15年以上の経験と豊富な実績で信頼されています。

“メーカー”の枠を超えた高度な施工。

改修▷G-PFシステム®

打ち放しコンクリート調描画工法光触媒コート仕上げ
老朽化した打ち放しコンクリート外壁を新築同様に再生。長年培った汎用性フッ素樹脂の技術を応用し、これまでほぼ不可能とされてきた技術を実現しました。

新築▷N-RCシステム

フッ素樹脂光触媒クリアー仕上げ

独自の外壁コーティング材「ピュアコート®」を使用し、コンクリートの風合いをそのままに濡れ肌を防止し、その美観を長期間維持します。

※「ピュアコート®」・「G-PFシステム®」は株式会社ピアレックス・テクノロジーズの登録商標です。

株式会社ピアレックス・テクノロジーズ

〔本社〕 〒595-0016 大阪府泉大津市桑南町4-14
Tel:0725-22-5361 / Fax:0725-22-5363

〔東京営業所〕 〒111-0042 東京都台東区寿3-14-11
蔵前チヨダビル7階
Tel:03-5830-0055 / Fax:03-5830-0056

〔中部営業所〕 〒510-8114 三重県三重郡川越町
亀崎新田77-568
Tel:059-363-5151

www.pialex.co.jp

 PIALEX TECHNOLOGIES



北面外観



避難スロープ